

## グループA「通学でのバス利用（PTA 联合会）」報告書

バス利用促進座談会では、第一回の座談会でバスの利用促進を行うためにどのような取り組みが必要かという話し合いをし、バスの利用目的毎にグループ分けをして行なった。今回の第二回では、実際に話し合いで出された意見やアイデアを形にするために「企画会議」を行い、以下の通り、具体的な内容にまとめることができた。

### ■企画テーマ

高校生によるバス利用に関する意見交換会

### ■ビジョン

この意見交換会を通して、高校生とバス事業者とがバス利用促進策を検討、共有しバス利用の環境改善を図る。また、この機会を通して、社会変革の一員となり成功体験を経験する

### ■根本となる課題

高校生がバス利用に関する知識が少なく（経路が分からない、乗り換えが難しい等）、移動手段としてバスを利用するという選択肢に繋がりにくいという現状

### ■具体的な企画内容

#### 【内 容】

**テーマ**：どのような取り組みや対策で高校生がバスを利用するようになるのか

※上記のテーマを中心に以下の議題を議論し具体的な話をしていく

**議 題**：(1)なぜ高校生はバスに乗らないのか / バスを利用するのか？

(2)バスに乗らないことで沖縄に起きている問題

(3)どうしたらバスを利用しやすくなるのか

(4)バスを利用したら、高校生の生活はどう変わるのか

(5)バスを利用したら、社会はどう変わるのか ※送迎が減ると渋滞が減る

**成果物**：SWOT分析を利用し課題と解決策の優先順位をつける→解決策を定める

**備 考**：参考として昨年度作成した那覇近郊の高校バスマップを配布します

**【対 象】** 那覇地区を中心とした5校ほどの高校生（各学校から2～3名）

**【方 法】** バス事業者にも参加してもらい、高校生と意見交換を行う

**【日 時】** 12月21日（木）17:00～19:00

**【場 所】** 沖縄県教職員共済会館「八汐荘」

**【協力者】** 沖縄県教育委員会、沖縄県高等学校PTA联合会

**【運 営】** 株式会社がちゆん（企画、ファシリテーター）

■「高校生によるバス利用に関する意見交換会」までの動き

1. 企画書を作成（株式会社がちゆん）※進行担当の鈴木が作成→當銘へ提出→県へ
2. Aグループの皆さんにメール連絡（株式会社がちゆん）
3. 高校へ参加者募集の連絡（PTA 連合）
  - ※交通政策課から依頼文を出す、出欠状況は交通政策課→がちゆん
  - ※公文書は提出済
4. あらかじめ新聞掲載面を押さえる
5. 参加申し込み用紙には5つくらい名前欄を作り、1学校から2~3名程度参加可能

■長期的な挑戦・アイデア

<具体的に挑戦すること> 意見交換会後の展開①

参加高校生が実際にバスを利用しモニタリングをする

高校生のバス利用に対する意識調査

学校が「バス利用促進座談会」及び関連事業を課外授業として認める

内申書（難しいだろう）に「バス利用促進座談会」に参加したことを書くことが出来る

意見交換会で成果とした出た SWOT 分析から実施可能なものを実施していく

SWOT 分析に加え、短期的・長期的な取り組みをまとめていく

<企画のアイデア> 意見交換会後の展開②

高校生が「1日バス会社社長」

「自分で考えるプロジェクト」に繋げる

実際のバス路線を使ってバス利用を考える

※バス体験を通して意見交換を行う等

※観光客向けのフリー乗車券を高校生にも使えるようにして、体験を行う

バス会社がファミリー割（日・祝割以外）や中高生割引を取り入れる

**目的:** 高校生バス利用シンポジウム(仮)の企画書を完成させる  
**目標:** 参加高校生の到達目標を設定する

**前日の流れ**  
 ✓アイデア → 高校生バス利用促進シンポジウムの開催  
 ✓ビジョン → 教育委員会に連携し生徒バス利用促進座談会を開催  
 ✓根本課題  
 ① 学校が生徒のバス利用促進を怠る、PTA等の協力が少ない  
 ② 高校生のバス利用に関する知識が少ない  
 ✓確定事項  
 【内容】 企画会社に委託  
 【対象】 那覇地区5校(2017年)の高校生(2017年2年生)  
 【方法】 バス事業会社の参加、高校生と意見交換  
 【日時】 12月21日(木) 17:00-19:00  
 【場所】 沖縄県教育委員会 会議室  
 【協力】 教育委員会、PTA連合会

**ゴール**  
 高校生が「バス利用促進座談会」に参加するとどうなるか?

**到達目標**

**参加前**  
 移動手段はバスで無い  
 参加高校生が実際にモニタリング  
 1000名程度のモニター募集

**意見交換会中**  
 同じような問題と解決策  
 高校生がバスを利用するメリットを知らない(知っていても)  
 高校生がバスを利用するデメリットを知らない(知っていても)  
 バス利用に関する意識調査

**親交歓会前**  
 学校に知らせる  
 親教師等と話し合う  
 「日バス社社長」の呼びかけ  
 学校が課外授業として認める

**座談会参加**  
 座談会  
 座談会

**座談会参加後**  
 座談会以外の高校生へのアプローチ  
 中継者、司会者、MC、PTA、保護者の協力  
 家族、中継者、司会者、MC、PTA、保護者の協力  
 まずバスに乗ってもらう

**親交歓会の議題**  
 高校生「バス利用促進」の取り組みの現状と課題  
 □なぜ今乗らないのか?  
 □沖縄に起きている問題  
 □どうしたら利用しやすくできるのか?  
 □利用したら自分はどう変わる?  
 □ " 社会 " ?  
**→成果物**

**成果物**  
 □SWOT分析  
 課題と解決策の優先順位  
**→「自分考えるプロジェクト」に繋げる**

**今後の動き!**  
 ① 高校生入連絡(乗組) PTA 募集要項(考えたい項目を記載)  
 ② 見学者を呼びかける 教育委員会、バス社長、中バス、バス党 (乗組) (乗組) (乗組)  
 ③ 各バス会社の皆様の経験談 (苦勞話・昔バスが賑わっていた時代) PTA  
**議題作成**  
 → 告知メール → 当日 → 高校生募集生徒  
 (東陽、那覇、沖縄) バス利用の経験談

**前日の流れ**  
**ゴール**  
 高校生バス利用シンポジウム(仮)の企画書を完成させる  
 参加高校生の到達目標を設定する